



同窓会報

NO.7

平成22年
8月2日発行

岩手県立一関第二高等学校同窓会

〒021-0041 岩手県一関市赤荻字野中23番地1
TEL. 0191-25-2242 (職員室)

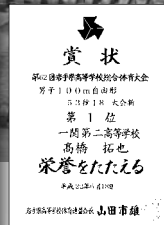
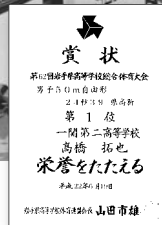
一関二高同窓会事務局
FAX. 0191-25-5432

印刷所 コンカツ印刷(有)

高総体の活躍

男女共に優勝!! 沖縄インターハイへ

二種目で優勝!!



フェンシング部



水泳 高橋拓也君

21連覇を成し遂げて…

女子フェンシング部

三年 小野寺 明 音

一関第二高等学校フェンシング部は伝統があり、多くの方々に期待されています。今回の高総体でも、たくさんの方々に応援していただきました。フェンシング部がこんなにもたくさんの方々に応援していただけるのは、先輩方のこれまでの活躍があったからだと思います。

しかし、私たちにとって伝統を受け継ぐということとは周囲から期待されていることになり、とてもプレッシャーに感じています。この重圧を克服して、今回、先輩から続いてきた優勝を21に伸ばす事ができました。また、男女共に優勝することができたのは、伝統を守るといふ私たちのプライドがあったことと、応援していただいた方々の期待に応えたいという気持ちが大きかったことからです。

私たちが21連覇を成し遂げることができたことも、男女共にインターハイに出場できたことも、周囲の方々の支援があったからだと思っています。

常に、感謝の気持ちを忘れずに、後輩たちにもこの素晴らしい伝統を受け継いでほしいと期待しています。

今後の同窓会運営について



会 長

佐 藤 正

同窓会員の皆様には益々ご壮健のことと拝察申し上げます。

この度6月26日（土）平成22年度定期総会を開催、決算報告ほか提出議案について審議が行われ原案（別途報告）のとおりご承認を頂きました。総会には前年に続いて盛岡支部から支部長並びに事務局長のご出席も頂き、種々貴重なご意見も頂き今後、会員相互の意思疎通を図りながら組織の活性化を進めていくことを確認いたしました。

現在入会金の納入方法について、調整中（21・22年度納入なし）であり、また生徒募集定員の減少（定員240名）等運営費が限定されていることを考慮してみるに会員各位からの会費納入をお願いせざるを得ない状況にあること。また行政サイドでの合理化対策なども相俟って同窓会運営の根本的な見直し検討が要請されて参りました。

①同窓会組織の活性化と構成会員相互の連携について ②組織の財政見直し・入会金と会費に対する認識の確認 ③同窓会会則の改正について（会費のあり方と徴収方法について） ④事務局の校外移管について ⑤事務局長・事務局員の配置（選出）について ⑥同窓会ホームページの作成について ⑦同窓会報の全員配布について ⑧各支部の今後の運営について（盛岡、仙台、関東各支部の事務局運営について）等大幅な見直しを行わなければなりません。時代の要請に慎重な検討を行いながら対応して参りたいと存じておりますので会員各位の深いご理解とご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

意志あらば道あり



校 長

酒 井 久美子

本校は「総合学科高校」として発足しましてから早くも7年目を迎えました。これまで同窓生をはじめ保護者、地域の皆様のご理解とご支援を戴きながら、新たな教育理念の下に活力ある学校づくりに努めてまいりましたが、昨年度からはその特性を生かしながらもさらなる本校の発展と教育活動の充実を目指して、総合学科の再構築に着手しているところです。教育の究極の目標である「たくましく生きる心豊かな人間の育成」を主軸に「生徒の進路希望が実現できる一関第二高校」としての明確な方向性を定め、その道筋をより太く長く堅固なものにしていく職員一丸となつての取り組みを今年度も進めてまいります。具体的には、今年度の基本方針として「文武両道」と「凡事徹底」を掲げました。特に「凡事徹底」は、本校生の最優先課題です。「凡事」すなわち誰もができる平凡なこと、当たり前のことを当たり前にやることはもちろん、これにプラスして他の人に真似のできないほど一生懸命やりましょう、とアピールしています。どんなに小さなことであっても、一つのことをコツコツ続けることが確かな自分の力になり、自信につながり、結果的にその積み重ねが大きなことを成し遂げていく原動力になると考えるからです。自分にとっての、学校生活においての、そして社会においての「凡事」を見つめ直すことから出発しています。この基本方針に沿ってそれぞれの学校生活が有機的に展開されれば、やがては「自らの進路を達成できる力」が養われていくことは、言わずもがなでありましょう。

残念ながら、今年度の就職状況もかなり厳しいものになることが予想されます。働くという点に関して企業から高校生に望む能力や資質を挙げるならば、次の二点に集約されると思います。すなわち、第一には他人の話を聴き、自分の意見をはっきりと伝えることのできるコミュニケーション能力。第二には、他人と協力して仕事をする事ができるコラボレーション能力です。これは進学・就職のいずれにおいても、つまり人が社会の中で生きて行くためには必要不可欠なものであり、この育成にあたっては、学校のみならず家庭や社会がそれぞれの役割を果たしながら総合的な視点をもって行っていくべきものと考えます。同窓生の皆様方には、日頃の本校に対する多大なご支援への感謝とともに、ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、併せて今後とも引き続き母校の発展のためご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年度総会・懇親会

今年度の総会・懇親会は、総会を二高大講義室、懇親会をホテルサンルート一関を会場にして6月26日(土)に開催されました。総会は、約60名の参加の中、本校音楽部による合唱のアトラクションから始まりました。今年度の当番幹事の中から、金今孝之さん(昭和48年3月二高普通科卒)、阿部静香さん(昭和58年3月二高普通科卒)が議長に選出されました。貴重なご意見も頂戴しながら議事がスムーズに進行し、各議案が承認されました。短い時間の中にも中身の濃い総会となりました。今回頂戴したご意見を生かし今後の同窓会運営を行っていききたいと思います。ありがとうございました。

懇親会は、今春卒業した同窓生4名と昭和58年3月卒の恩師、高橋晶先生と中浜清輝先生を迎え約70名と総会とはほぼ同数の方々に参加していただき、昭和48、58年3月卒の当番幹事の司会により和やかに行われました。余興では、一関市萩荘の達古袋神楽の素晴らしい舞をご披露いただき、当番幹事の皆様による歌や踊り等で会をさらに盛り上げていただきました。その後の同期会も

それ以上の盛り上がりだったことと思います。今回は、昭和58年3月卒の当番幹事の方々の集まりが悪く当初は集まるかどうか心配されましたが、短期間で約20名の皆様に参加いただきホッとしました。

来年の平成23年度総会・懇親会は昭和49、59年3月卒の皆さんが当番幹事です。当番幹事の引継会を来年3月に予定しております。学年理事と今年度の総会・懇親会に参加していただいた方々に引継会の案内をさせていただきますので、責任を持って参加いただきますようお願いいたします。

本年度総会 議事の内容

- (1) 第1号議案
平成21年度事業経過報告について
- (2) 第2号議案
平成21年度会計決算・会計監査報告並びに承認について
- (3) 第3号議案
平成22年度事業計画(案)について
- (4) 第4号議案
平成22年度会計予算(案)について
- (5) 第5号議案
役員改選について
- (6) その他

第2号議案 平成21年度会計決算・会計監査報告並びに承認について

平成21年度 同窓会会計決算書

1 収入の部

(単位:円)

項 目	当初予算額	決 算 額	比 較	摘 要
1 会 費	2,757,300	2,739,360	△ 17,940	390円×7,024件
2 入 会 金	1,188,000	1,171,000	△ 17,000	1年3,000円×240人、3年2,000円×24人、(△17,000 転退学者への返金)
3 繰 越 金	2,372,097	2,372,097	0	平成20年度繰越
4 雑 収 入	3,603	361,642	358,039	通年度収入(26件)、預金利息、名簿予約還元金(ヤマトより)
合 計	6,321,000	6,644,099	323,099	

2 支出の部

(単位:円)

項 目	当初予算額	決 算 額	比 較	摘 要
1 事 務 費	50,000	33,160	16,840	事務用品、コピー代等
2 通 信 費	500,000	255,943	244,057	各種案内状発送郵便代等
3 会 議 費	700,000	603,619	96,381	総会・理事会・諸会議等
4 慶 弔 費	50,000	79,407	△ 29,407	弔電等
5 旅 費	550,000	392,050	157,950	支部総会参加旅費等
6 事 業 費	1,200,000	1,107,037	92,963	同窓会報・その他印刷、卒業記念品等
7 支 部 補 助 費	310,000	310,000	0	各支部活動補助
8 部 活 動 助 成 金	400,000	326,250	73,750	全国大会出場等の補助、大会・演奏会等の広告掲示等
9 部 活 動 奨 励 費	200,000	122,532	77,468	同窓会表彰等
10 公孫樹館運営費	500,000	0	500,000	公孫樹館の運営管理等
11 入 会 金 調 整 費	1,440,000	0	1,440,000	新入生入会金(3,000円×240人)×2年分
12 雑 費	50,000	15,533	34,467	振込み手数料等
13 予 備 費	371,000	0	371,000	
合 計	6,321,000	3,245,531	3,075,469	

3 収支決算額

収入済額 6,644,099円 - 支出済額 3,245,531円 = 差引残額 3,398,568円

平成21年度 同窓会特別会計(積立金)決算書

(単位:円)

項 目	当初予算額	決 算 額	比 較	摘 要
1 積 立 金	0	0	0	
2 繰 越 金	5,014,038	5,014,038	0	110周年準備基金として平成20年2月26日積立
3 雑 収 入	8,023	8,023	0	利息(利率0.200%-税金)
合 計	5,022,061	5,022,061	0	




以上のとおり報告します。

平成22年 3月31日

会計担当 佐藤 隆 

同窓会会計及び同窓会特別会計は、諸帳簿・証書類共に完備し、収支記帳も正確であったことを報告します。

平成22年 4月26日

監 事 小野寺 仁 監 事 小野寺 弘 文 監 事 千葉 公 平 

平成22年度 同窓会会計予算書(案)

1 収入の部

(単位:円)

	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1	会 費	2,772,900	2,757,300	15,600	390円×10回×711人
2	入 会 金	464,000	1,188,000	△ 724,000	3年 2,000円×232人
3	繰 越 金	3,398,568	2,372,097	1,026,471	平成21年度繰越
4	雑 収 入	1,532	3,603	△ 2,071	預金利息、過年度収入等
	合 計	6,637,000	6,321,000	316,000	

2 支出の部

(単位:円)

	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1	事 務 費	70,000	50,000	20,000	事務用品、コピー代等
2	通 信 費	500,000	500,000	0	各種案内状発送郵券代等
3	会 議 費	700,000	700,000	0	総会・理事会・諸会議等
4	慶 弔 費	100,000	50,000	50,000	弔電等
5	旅 費	550,000	550,000	0	支部総会参加旅費等
6	事 業 費	1,400,000	1,200,000	200,000	同窓会報・その他印刷、卒業記念品等
7	支 部 補 助 費	300,000	310,000	△ 10,000	各支部活動補助(100,000円×3支部)
8	部 活 動 助 成 金	600,000	400,000	200,000	全国大会出場等の補助、大会・演奏会等の広告揭示等
9	部 活 動 奨 励 費	300,000	200,000	100,000	同窓会表彰等
10	公孫樹館運営費	500,000	500,000	0	公孫樹館の運営管理等
11	入 会 金 調 整 費	720,000	1,440,000	△ 720,000	新入生入会金(3,000円×240人)×1年分
12	雑 収 入	50,000	50,000	0	振込み手数料等
13	予 備 費	847,000	371,000	476,000	
	合 計	6,637,000	6,321,000	316,000	

平成22年度 同窓会特別会計(積立金)予算書(案)

1 収入の部

(単位:円)

	項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1	積 立 金	0	0	0	
2	繰 越 金	5,022,061	5,014,038	8,023	110周年準備基金として平成20年2月26日積立
3	雑 収 入	2,813	8,023	△ 5,210	利息(利率0.070%-税金)
	合 計	5,024,874	5,022,061	2,813	

平成22年度同窓会役員の選出について

役職名	平成22・23年度役員	平成20・21年度役員
会 長	佐 藤 正 (昭和30年卒 一関二高・普)	佐 藤 正 (昭和30年卒 一関二高・普)
副 会 長	鈴 木 信 子 (昭和42年卒 一関二高・普)	鈴 木 信 子 (昭和42年卒 一関二高・普)
	千 葉 恵 美 (昭和44年卒 一関農高・生)	千 葉 恵 美 (昭和44年卒 一関農高・生)
	千 葉 弘 毅 (昭和45年卒 一関二高・普)	千 葉 弘 毅 (昭和45年卒 一関二高・普)
	槻 山 隆 (昭和45年卒 一関農高・農)	槻 山 隆 (昭和45年卒 一関農高・農)
監 事	千 葉 公 平 (昭和41年卒 一関二高・農)	小野寺 仁 (昭和35年卒 一関二高・普)
	阿 部 元 男 (昭和42年卒 一関二高・普)	小野寺 弘 文 (昭和35年卒 一関二高・普)
	佐 藤 裕 一 (昭和53年卒 一関二高・普)	千 葉 公 平 (昭和41年卒 一関二高・農)

平成22年度 一関二高同窓会年間行事計画

平成22年

4月8日(木) 入学式
26日(月) 同窓会会計監査(本校)
5月14日(金) 同窓会総会・懇親会当番幹事
引継ぎ会
(ホテルサンルート一関)
15日(土) 開校記念日
21日(金) 同窓会総会・懇親会当番幹事
第1回打ち合わせ会(本校)
27日(木) 同窓会常任理事会・理事会
(本校)
28日(金) 同窓会総会・懇親会当番幹事
第2回打ち合わせ会(本校)
6月15日(火) 同窓会総会・懇親会当番幹事
第3回打ち合わせ会(本校)
26日(土) 同窓会総会・懇親会
(本校大講義室・ホテルサンルート一関)
当番幹事 昭和48・58年3月卒

8月2日(月) 同窓会報発行
28日(土)~ } 二高祭
29日(日) }
9月25日(土) 同窓会関東支部総会・懇親会
(サンケイプラザ)
未 定 同窓会仙台支部総会・懇親会
(未定)
10月2日(土) 同窓会盛岡支部総会・懇親会
(ホテルニューカリーナ)

平成23年

未 定 同窓会常任理事会(未定)
2月28日(月) 同窓会表彰・入会式
3月1日(火) 卒業式

同窓会総会・懇親会の様子



貴重なご意見をいただいた総会



高橋晶先生の
指揮による校歌斉唱



平成22年卒同窓生と担任



達古袋神楽の舞



来年度当番幹事の皆さん



58年卒有志による踊り

48年同期会

10年ぶりの同級会

昭和48年3月卒 小 幡 和 夫

一関二高同窓会の当番幹事が10年ぶりに回って来ました。昭和48年3月卒、58年3月卒の当番幹事の皆さん、今回の総会・懇親会の準備並びに当日の活躍大変ご苦労さまでした。また、二高同窓会役員の方々及び二高同窓会事務局の先生方の活動に対し敬意を表すると共にお礼を申し上げます。

今回の同窓会では、平成12年以来の2回目の当番幹事を務めさせていただきましたが、同窓会懇親会への出席者が少なかったことを申し訳なく思っております。

昨年のことになりますが、6月21日に開催された同窓会懇親会に本年度の当番幹事にあたることから出席させていただきました。昭和47年3月卒の先輩方には、芸達者な方が多く、大変盛り上がった懇親会で、来年はどういう嗜好を凝らし、懇親会を行うか当番幹事で悩みました。

しかし、当日の同窓会懇親会では、余興で同級生の三浦かよ子さんの旦那さん達が地元で継承して

いる達古袋神楽（一関市萩荘）の皆さんによる「弁慶安宅の間」を厳粛に披露していただき懇親会場は大いに盛り上がりました。大変ありがとうございました。

懇親会終了後、懇親会会場と同じホテルサンルート一関で同級会が開催され、恩師の松田幸夫先生（普通科）と菅原正教先生（土木科）を囲み、昭和48年の卒業アルバムを肴に大いに盛り上がりました。同級会終了後、市内の食事処で二次会を開催したところ、ほとんどの同級会出席者が参加し、同級生の親睦をさらに深め、今後「還暦の同級会」を開催することを約束しました。

一関二高を卒業して37年。長い年月が経過しましたが、今回開催された同級会でも同級生に会った瞬間に高校時代に戻れるものと痛感しました。

同級生は本当にいいものだ実感した次第であります。

終わりに一関二高の益々のご発展を祈念し、「同窓会会報」に寄せる言葉とします。



58年同期会

どうなることか…同窓会

昭和58年3月卒 浅 利 真 弓

「今日の16:00打ち合わせを行います。ご参加ください。」というメールが届いたのが、5月30日のことでした。今年が当番幹事とのことです。いろいろな手違いで、全体での打ち合わせは、もうすでに2度行なわれており、58年卒の同窓会準備は同窓会当日まで1か月を切ったスタートでした。葉書の締切日になっても参加人数が一桁…。当日はどうなることかと思いましたが、電話、メールなどでなんとか20数名集まりました。

このような状態で、先生方全員に連絡をすることができず、なんとか連絡がとれた高橋晶先生と中浜清輝先生のおふた方にご参加いただきました。

懇親会では、ピンクレディをチャイナ服で踊り、好評をえました。そして、最後の校歌斉唱では、高橋晶先生に指揮をしていただき、高校時代を思い出しながら、思い切り歌いました。

その後同期会では、高校時代には思いもよらな

かった姿があちこちに…。カラオケマイクを離さない人(中浜先生は「三年目の浮気」を熱唱していました)、曲に合わせて踊る人。時間も忘れて楽しい時を過ごしました。先生方もびっくりなさっていたようです。

そんなこんなで、始まりは遅かったものの、楽しい同窓会になりました。

昭和48年3月卒の先輩方、二高の担当の先生方、ご迷惑、ご心配をおかけして大変申し訳ございませんでした。最初から動いてくださった、同期のみなさん。ありがとうございました。10年後の当番幹事の時にはこんなことがないようにしようと、固く約束しましたので、次回は大丈夫です。たぶん…。

昭和58年3月卒業の同窓生の皆さん、10年後は当番幹事です。今度は全員で参加して楽しい時間を過ごしましょう。



盛

岡

支

部

盛岡支部のマニフェストは『参加』

相 原 栄 司

(昭和35年3月卒)

平成21年度盛岡支部総会・懇親会が10月3日(土)盛岡駅前のホテルメトロポリタン盛岡本館に於いて開催されました。参加者は28名と昨年同様の人数ではありましたが、初めての方が3名参加して頂いたことは大変心強いことだと思っております。

総会は、曾部事務局員の司会のもと開会され、支部長挨拶ではマニフェストに「参加」を掲げ一人でも多くの会員の方々に参加して頂ける支部運営の確立を目指す事として皆様方のご協力をお願い致しました。



同窓会本部の佐藤会長からは同窓会の活動について、酒井校長からは浜っ子らしい歯切れの良い口調で学校の現状と在校生の活躍ぶりについて報告・紹介がありました。続いて、小錦会員を議長に選び各議案とも原案通り決定されました。

その他事項では「会報発送協力金」について質問・意見が相次ぎましたが、今後同窓会本部から納得のできる説明をしていただくことをお願いしました。

引き続き鹿野顧問の挨拶で始まった懇親会は、矢巾町在住でギターの引き語りをしている村上成夫さんの軽妙なトークと心地良いギターにのせた歌によいしれ、次に古沢事務局員の日本舞踊を堪能しました。自己紹介等で盛り上がった懇親会も瞬く間に時間が過ぎ、マニフェスト実現のため一人一人が協力することを誓った後、参加者全員の校歌斉唱でお開きとなりました。



関

東

支

部

第10回 同窓会関東支部 総会・懇親会

支部長 大 野 利 朗

(昭和32年3月卒)

平成21年度関東支部の総会並びに懇親会が10月25日(日)新宿の京王プラザホテル42階高尾の間で開催されました。

本部からは佐藤会長、鈴木副会長、槻山副会長、学校からは酒井校長先生、事務局の先生方に出席を仰ぎ、総勢56名の出席をいただきました。席上、佐藤会長からは同窓会の状況や、今後の会報発行、発送の説明があり、酒井校長先生からは、総合学科の特色を生かした学校の状況と、生徒の部活動の報告がありました。

総会の議案も原案通り承認され、引続き懇親会が開かれました。担任の小田島先生のご配慮で平成21年卒業の同窓生が4人も出席して下さいました。今後も学校側のご協力を頂き、若い方々の参加を期待します。

また、今年の春の叙勲で瑞宝双光章を受章された宮本正敏さん(昭和31年3月土木科卒、国土交通省)が紹介されました。ちなみに、今年の秋の叙勲では岩見武夫さん(昭和30年3月土木科卒、香港在住)が旭日双光章を受章しています。先の一関市議会議員選挙では二高出身者が5名当選した等、多方面にわたり卒業生の活躍が披露されました。

総会10周年記念イベントとして、今年から卒業生の作品コーナーを設けました。今後も会員皆様の絵画、書、小説、自分史等を展示し広



く作品の発表の場としますので、出展をお待ちしています。

会員の作品や景品に提供して頂き記念行事の福引きビンゴゲームが行われ、和やかに会が進行了しました。恒例の須川音頭の曲が流れると、大きな輪になり会場狭しと、繰り返し踊りが始まり一段と盛り上がり、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。最後に校歌を高らかに斉唱し、ふるさと一関の山川を思い浮かべ、唱歌「ふるさと」を全員で合唱し、来年も参加しようと誓いあい、10周年記念懇親会を盛況の裡に散会致しました。参加されました皆様有難うございます。

来年の同窓会には多くの方々のご参加をお待ちしております。



仙

台

支

部

平成21年度 仙台支部総会

山 形 元 孝

(昭和42年3月卒)

平成21年度仙台支部総会が11月6日仙台ホテルにて総勢33名出席の中今年も充実盛大に行われました。今年で第9回目の開催とあって出席者同士すっかり顔なじみとなり、しばらく元気…などと挨拶をかわしておられすぐにも和やかな雰囲気、卒業年度は違っていてもすぐさま同類意識が生まれるのはさすが一関二高卒業生です。また、飛び入りのうれしいハプニングがあり現役大学生の4名が急遽参加するという若々しい同窓生も混じり参加者年齢差がなんと56歳という同窓生が仲むつまじく同席と

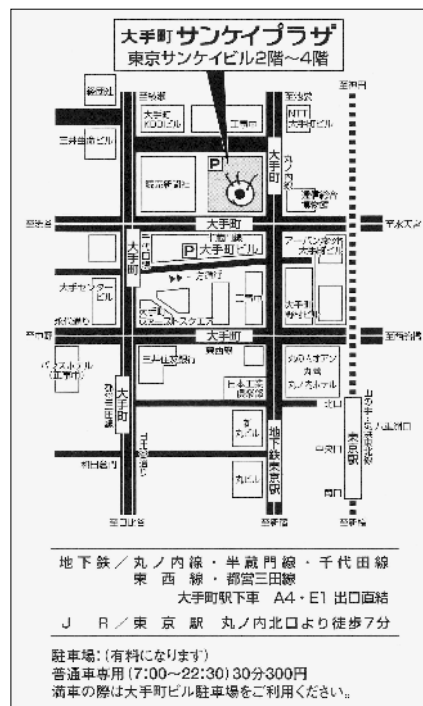
いう状況でした。会は順調に総会から懇親会へと進み和やかな雰囲気の中で今年も圧巻はアトラクション。今迄津軽三味線から始まり仙台名物YOSAKOI踊り（仙台女子大学）、すずめ踊り（宮城県立大学）と続き好評を博しておりましたが今年は、日本古来の珍伝統のどじょうすくい保存会による安来節が出演。今年も又々拍手喝采。最後は全員で力強く校歌斉唱で終会。青春時代にタイムスリップしたせいか晴々と若々しくなった皆様方の顔が印象的でした。



一関二高同窓会支部総会・懇親会開催案内

関東支部

- ◎日時：平成22年9月25日(土)
13:00～(受付12:30～)
- ◎会場：大手町サンケイプラザ3階
(東京サンケイビル内)
千代田区大手町1-7-2
TEL 03-3273-2258
- ◎会費：7,000円(当日ご持参ください)
※平成21・22年3月卒の方は会費無料です。
- ◎メ切：8月31日(火)まで
- ◎お問い合わせ・その他
080-1169-8283(携帯)
03-5999-8481(Tel/Fax)
関東支部事務局長：曾部 篤治(S44普卒)



盛岡支部

- ◎日時：平成22年10月2日(土)
16:00～(受付15:30～)
- ◎会場：ホテルニューカーリーナ2F
盛岡市菜園2-6-1
TEL 019-625-2222
- ◎会費：5,000円(当日ご持参ください)
※平成21・22年3月卒の方は会費無料です。
- ◎メ切：9月17日(金)まで
- ◎お問い合わせ・その他
TEL 0191-635-1592
盛岡支部事務局長：阿部 俊雄(S42普卒)



仙台支部

支部総会の会場及び日程はまだ決定しておりません。
決定次第、仙台支部よりご案内申し上げます。

部活動

※※生徒の活躍※※
(平成21年度)

《フェンシング部》

岩手県高等学校総合体育大会

(男子)

学校対抗	優勝	
フルーレ	1位	佐々木 透
	2位	千葉 誠人
エペ	2位	佐々木 翔
	3位	千葉健太郎
サーブル	2位	千葉 誠人
	3位	佐々木 透

(女子)

学校対抗	優勝	
フルーレ	1位	佐藤 和美
	2位	金野 温美
	3位	鈴木 美紀
エペ	1位	佐藤 美香
	2位	鈴木 美紀
	3位	金野 温美
サーブル	1位	小野寺明音
	2位	佐藤 和美
	3位	稲邊 璃乃

東北高等学校フェンシング選手権大会

(男子)

学校対抗	3位
------	----

(女子)

学校対抗	3位
------	----



フェンシング部

岩手県高等学校新人大会

(男子)

学校対抗	優勝	
フルーレ	1位	千葉 誠人
	2位	佐々木 翔
	3位	千葉健太郎

(女子)

学校対抗	優勝	
フルーレ	1位	鈴木 梨奈
	2位	小野寺明音

《陸上競技部》

岩手県高等学校総合体育大会

1500m	3位	加藤 佳乃
3000m	3位	加藤 佳乃
円盤投げ	2位	佐々木葉月
砲丸投げ	2位	佐々木葉月

盛岡市内一周継走大会

高校女子	総合1位	加藤 佳乃
------	------	-------

岩手県陸上競技選手権大会

5000m	2位	加藤 佳乃
棒高跳び	2位	佐々木 優

国民体育大会予選会

5000m	2位	加藤 佳乃
棒高跳び	2位	佐々木 優

岩手県秋季陸上競技会

棒高跳び	3位	佐々木 優
------	----	-------

《水泳部》

岩手県高等学校総合体育大会

100m自由形	1位	高橋 拓也
50m自由形	1位	高橋 拓也
200m自由形	3位	橘木 志織

岩手県高等学校新人大会

100m自由形	2位	高橋 拓也
50m自由形	1位	高橋 拓也

《柔道部》

岩手県高等学校1・2年体重別柔道選手権大会

男子60kg	3位	千田 大地
女子52kg	3位	菅原 美佳

《弓道部》

岩手県知事杯争奪弓道大会

男子団体	2位
------	----

《卓球部》

岩手県高等学校総合体育大会

女子団体 3位

岩手県高等学校新人大会

女子団体 3位

《文学部》

全国高等学校総合文化祭

文化連盟賞 佐藤 友理

俳句甲子園全国高等学校俳句選手権大会

優秀賞 佐藤 友理

俳句甲子園全国高等学校俳句選手権東北大会

団体優勝 Aチーム

最優秀作品賞 根木 夏実

岩手県高等学校総合文化祭文芸部門

文芸部誌 入選

俳句部門 最優秀賞 鈴木みどり

優秀賞 根木 夏実

優良賞 小野寺真優

優良賞 佐藤 佳那

詩部門 優秀賞 小野寺真優

入選 根木 夏実

入選 佐藤 陽介

入選 千葉紗耶香

入選 佐藤 佳那

短歌部門 入選 佐藤 陽介

全国山頭火フォーラム記念俳句大会

ジュニアの部 入選 澁谷 茉央

全国高等学校文芸コンクール

俳句部門 優良賞 根木 夏実

入選 菅原 美咲

全国高等学校総合文化祭宮崎大会

文芸部門 岩手県代表 鈴木みどり

《書道部》

岩手県書写書道コンクール

学校賞

岩手県書写書道教育研究協会会長賞

千葉 早姫

岩手県高等学校書道作品コンクール

岩手県書道協会会長賞（第2席） 和賀 愛実

奨励賞 杉山 玲奈

奨励賞 小岩波留可

奨励賞 熊谷ひらり

岩手県高等学校総合文化祭書道部門

第1種漢字仮名 優秀賞 斎藤 香澄

優秀賞 千葉 早姫

優秀賞 熊谷ひらり

優秀賞 小野寺智美

優秀賞 佐々木 郁

優秀賞 和賀 愛実

優秀賞 佐藤 綾

全日本高校・大学生書道コンクール

書道展賞 和賀 愛実

書道展賞 斎藤 香澄

全国高等学校総合文化祭宮崎大会

書道部門 岩手県代表 小野寺智美

《太鼓道場》

日本太鼓ジュニアコンクール岩手県予選大会

特別賞

《音楽部》

全日本合唱コンクール東北支部大会

優良賞

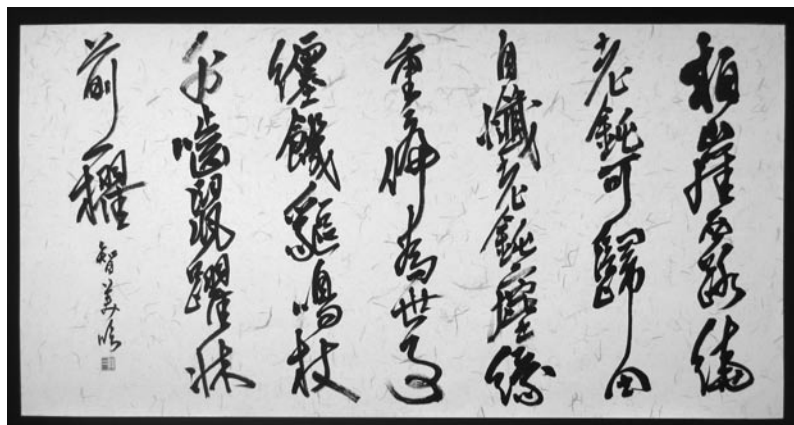
《演劇部》

岩手県高等学校総合文化祭演劇部門

優秀賞

東北地区高等学校演劇発表会

優良賞



全国高等学校総合文化祭宮崎大会 書道部門 岩手県代表作品

卒業生の進路

平成21年度 卒業生進路別合格者数(延べ人数)

進 学	国公立大学	私立大学	国公立短期大学
	11	100	5
就 職	私立短期大学	看護・医療系専門学校	専門学校
	30	36	65
就 職	公務員	一般企業	福祉関係
	2	30	12

《進学》(入学した大学・専門学校等)

〔国公立大学〕

岩手大学(1)、福島大学(2)、釧路公立大学(1)、岩手県立大学(3)、会津大学(1)、前橋工科大学(2)、都留文科大学(1)

〔私立大学〕

北海道工業大学(1)、弘前学院大学(4)、岩手医科大学(3)、盛岡大学(3)、石巻専修大学(1)、仙台大学(5)、東北学院大学(2)、東北工業大学(4)、東北福祉大学(5)、東北薬科大学(1)、宮城学院女子大学(4)、東北文化学園大学(7)、尚絅学院大学(2)、いわき明星大学(1)、奥羽大学(1)、つくば国際大学(1)、白鷗大学(2)、上武大学(2)、東京福祉大学(1)、駿河台大学(2)、帝京平成大学(1)、秀明大学(1)、千葉科学大学(1)、桜美林大学(2)、専修大学(1)、大正大学(1)、大東文化大学(1)、玉川大学(2)、帝京大学(1)、東海大学(2)、東京女子体育大学(1)、東洋大学(2)、日本大学(6)、日本女子体育大学(2)、立正大学(2)、神奈川大学(7)、関東学院大学(2)、鶴見大学(1)、朝日大学(1)、中京大学(1)

〔国公立短期大学〕

岩手県立大学盛岡短期大学部(2)、山形県立米沢女子短期大学(3)

〔私立短期大学〕

東北女子短期大学(1)、修紅短期大学(5)、盛岡大学短期大学部(2)、宮城誠真短期大学(1)、秋田栄養短期大学(1)、郡山女子大学短期大学部(1)、国学院大学栃木短期大学(1)、聖徳大学短期大学部(1)、青山学院女子短期大学(1)、大妻女子大学短期大学部(2)、創価女子短期大学(1)、日本大学短期大学部(1)、文京学院短期大学(1)、山野美容芸術短期大学(1)

〔看護・医療系専門学校〕

岩手県立一関高等看護学院(8)、気仙沼市立病院附属看護専門学校(4)、仙台医療センター附属仙台看護助産専門学校(1)、福島県立会津若松看護専門学校(1)、神奈川県立衛生看護専門学校(1)、花巻高等看護専門学校(3)、水沢学苑看護専門学校(4)、相馬看護専門学校(1)、勤医会東葛飾看護専門学校(1)、帝京高等看護学院(2)、坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校(1)、日本医科大学看護専門学校(1)、岩手リハビリテーション学院(2)、岩手医科大学歯科衛生専門学校(2)、仙台医療専門学校(1)、早稲田速記医療福祉専門学校(1)、東京医学技術専門学校(1)、東京電子専門学校(1)

〔専門学校〕

岩手県立千厩高等技術専門校(1)、盛岡公務員法律専門学校(1)、専門学校盛岡カレッジオブビジネス

(1)、盛岡情報ビジネス専門学校(1)、盛岡調理師専門学校(2)、上野法律情報ビジネス専門学校(2)、菜園調理師専門学校(1)、北日本ハイテクイカルクッキングカレッジ(2)、北日本ヘア・スタイリストカレッジ(1)、北日本医療福祉専門学校(1)、専修大学北上福祉教育専門学校(1)、北上コンピューターアカデミー(2)、東北ヘアモード学院(5)、花壇自動車整備大学校(1)、赤門鍼灸柔整専門学校(1)、仙台医療秘書福祉専門学校(3)、仙台医療福祉専門学校(3)、仙台リゾート＆スポーツ専門学校(1)、仙台ビューティーアート専門学校(2)、仙台総合ペット専門学校(1)、仙台デザイン専門学校(2)、仙台保健福祉専門学校(2)、専門学校デジタルアーツ仙台(1)、東京法律専門学校仙台校(5)、東日本航空専門学校(1)、東北電子専門学校(1)、東北文化学園専門学校(1)、宮城調理製菓専門学校(5)、国際マルチビジネス専門学校(1)、専門学校アニマルインターカレッジ(3)、淑徳幼児教育専門学校(1)、神田外国語学院(1)、東京医療福祉専門学校(1)、東京文化美容専門学校(1)、文化服装学院(2)、日本工学院八王子専門学校(1)、辻製菓マスターカレッジ(1)、国際観光専門学校(1)、エコール辻 大阪(1)

《就職》

〔公務員〕

海上自衛隊(2)

〔管内〕

〔一般企業〕

(株)長島製作所(1)、(株)斎藤松月堂(1)、一関信用金庫(1)、須川高原(株)(2)、(株)国際自動車教習所(1)、岩手南農業協同組合(1)、共立ハイパー(株)(1)、三光化成(株)(1)、(株)丸江(1)、(株)石橋ホテル(1)、(株)日ピス岩手(1)、(株)アイ・トーヨーシューズ(1)、桃の湯(株)(1)

〔福祉関係〕

特別養護老人ホーム一関ケアサポート(1)、特別養護老人ホームふくしの里慶泉荘(1)、特別養護老人ホーム明生園(2)、特別養護老人ホーム関生園(2)

〔県内〕

〔一般企業〕

(有)ゼン(1)、岩手トヨペット(株)(1)、東日本旅客鉄道(株)盛岡支社(1)、岩手ふるさと農業協同組合(1)、(株)K Y コーポレーション(1)

〔福祉関係〕

特別養護老人ホーム聖愛園(1)

〔県外〕

〔一般企業〕

(株)デンロコーポレーション東北ガルバセンター(1)、(株)エコ・プラン(1)、(株)珍来金町店(1)、共立印刷(株)(1)、松島国際観光(株)(1)、東京急行電鉄(株)(1)、(株)SANTOKU(1)、(有)玉樹(1)、(株)新千葉カントリー倶楽部(1)、(株)スタディー(1)、オジマスカイサービス(1)

〔福祉関係〕

医療法人秀峰会(2)、介護老人保健施設ジェロントピア菊華(1)、社会法人あそか会(1)、家の光療育センター(1)

転入転出教職員一覧

転 出 者

職 名	氏 名	転 出 先
副 校 長	川 上 圭 一	盛岡第四高校
教 諭	吉 光 久	退 職
教 諭	小野寺 正 美	退 職
教 諭	千 葉 了	水沢農業高校
教 諭	照 井 葉 子	釜 石 高 校
教 諭	大 谷 茂	伊 保 内 高 校
教 諭	伊 藤 健 一	高 田 高 校
教 諭	川 村 誠	盛岡市立高校
教 諭	菅 野 正 和	農 業 大 学 校
教 諭	大 関 直 美	山 田 高 校
事 務 長	今 野 幸 午	退 職

転 入 者

職 名	氏 名	前 任 校
副 校 長	佐 伯 幸 雄	県教育委員会 学校教育室
教 諭	鈴 木 寛	遠野緑峰高校
教 諭	北 浩 一	盛岡商業高校
教 諭	小 山 卓	盛岡農業高校
教 諭	千 葉 武 徳	福 岡 高 校
教 諭	浅 野 尚 子	岩泉高校田野畑校
教 諭	外 川 直 美	盛岡農業高校
教 諭	吉 田 由岐恵	花 巻 南 高 校
教 諭	石 坂 みづえ	伊 保 内 高 校
講 師	高 橋 友 理	宮古高校川井校
講 師	及 川 寧	山 田 高 校
主幹兼事務長	小田中 昌 見	花 巻 南 高 校

来年度の同窓会総会 並びに各支部の総会のご案内について

来年度の同窓会総会につきましては、6月の最終土曜日を予定しております。つきましては、開催時期が近づきましたならば、岩手日日及び岩手日報等の新聞に開催広告を掲載し、併せて各学年の理事を通じてご案内いたします。なお、各支部の来年度の総会につきましても、開催時期が近づきましたならば、ご案内いたします。

ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご協力をお願いいたします。遠方にお住まいの方も、遠慮なく事務局に問い合わせただければ幸いです。

若い同窓生の参加を お待ちしております。

年々、本部総会のみならず各支部でも同窓会参加者の高齢化が進み、母校を愛する気持ちと、伝統を受け継いでいくためにも、より若い世代の同窓生の参加が望まれております。

初めのうちは、『敷居が高い』と感じるかもしれませんが、若い同窓生世代の担任だった先生方の参加も予定しています。是非、同級生のみならず、先輩・後輩をお誘い合わせの上、参加していただきますよう、ご案内申し上げます。

地元のみならず、多方面で活躍されている先輩方との交流は、心のふれあいやビジネスでのきっかけ作りとなるかもしれません。

同窓生…共に巣立った友人同士、自主の心と意志の力で理想の未来を築いていきましょう！

同窓会報発送協力金について

昨年度の同窓会報の発送にあたり、同窓会の会計の中で一番の懸案事項であったのが、会報の発送料でしたが、サトウに協力していただき、同窓生の皆様からの協力金による独立採算方式を利用することで取り進めてまいりました。説明不足の点もあり、ご協力いただきました皆様にも不安や疑問をおかけしたことと思います。その中でも、ご協力いただきました皆様へこの会報をお借りしましてお礼申し上げます。

なお、同窓会報を19,181通発送いたしまして、483名の同窓生から1,087,500円の入金がありましたことをご報告いたします。

ご協力いただき誠にありがとうございました。また、協力金のお願いなどがありました際はよろしく願いいたします。

同窓会ホームページ開設

この度、同窓会のホームページを開設することとなりました。今までは同窓会報を利用してしか同窓会の情報を同窓生の皆様にお知らせすることしかできませんでしたが、現代のデジタル情報化の中もっと簡単に同窓会の情報をもっとたくさんの方に知っていただくため、同窓会ホームページを開設することになりました。

開設は、10月上旬の予定ですので皆さんアクセスしてください。

WEBアドレス <http://sekinidosokai.com/>

メールアドレス info@sekinidosokai.com

(ホームページは10月開設予定です。ただいま準備中です。)

同窓会の寄付について

昨年、同窓会報を発送する際に、会報発送協力金を募り会報を発送しましたが、現在、同窓会事業の収入源は、在校生の会費と入会金で成り立っており、大変財政的に厳しい状況にあります。

そこで、同窓会への寄付口座を開設しておりますので、皆様の温かいご支援をよろしく願いいたします。

寄付口座は、郵便振替(手数料加入者負担)となっておりますのでよろしくお願いいたします。

加入者名及び口座番号は以下のとおりです。

○加入者名：一関二高同窓会

○口座番号：02220-8-56591